

みんなのひろば

話題がありましたら企画振興課まで
電話 72 0332

交通マナーとルールを守ろう

街頭広報で交通事故防止を呼びかける

交通安全意識を高め、事故を防ごうと、春の交通安全運動期間中（4月6日から15日）の4月12日、根雨地区のショッピングセンター駐車場で交通安全街頭広報を行いました。

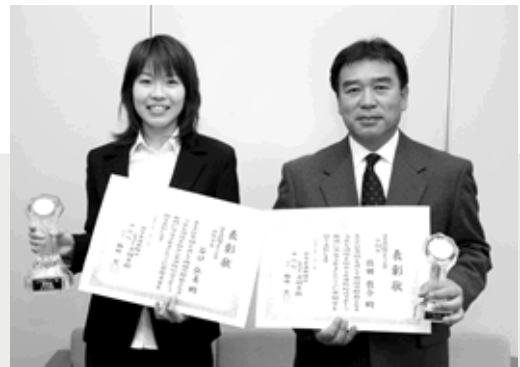


チラシや反射材を配り交通安全を呼びかける

街頭広報には町交通安全対策協議会のメンバーら約20人が参加。買い物に訪れる人々に「交通ルールとマナーを守りましょう」「シートベルト、チャイルドシートの正しい着用の徹底を」などとチラシなどを配りながら交通安全を呼びかけました。

また、この日は、町内中を広報して回る交通安全パレードも行われました。

最近の交通事故は、高齢者の被害が多いことから、春の交通安全運動は「まだいける、まだ大丈夫は、もう危険」をスローガンに、子どもと高齢者の交通事故防止を重点に取り組みました。



受賞した谷口さん（左）と牧田さん（右）

スポーツの振興に貢献

日本海新聞スポーツ大賞

県内スポーツの振興を図ろうと、3月22日、日本海新聞スポーツ大賞（新日本海新聞社主催）の表彰式が、町役場町長室で開かれました。

最優秀賞には、中国学生優勝大会の個人選手権女子の部で優勝した谷口弘美さん（黒坂）。奨励賞には、長年日野町のソフトテニスの発展に貢献した牧田教介さん（黒坂）が選ばれました。

2人には功績をたたえ、賞状などが梅林町長から手渡

されました。

谷口さんは「大学を卒業し、社会人になっても選手としてテニスを続けていきたいです」。牧田さんは「これからもテニスの楽しさを続けることの大切さを子どもたちに伝えていきたいです」と話していました。

この賞は、県内各市町村で特に優秀な成績を残した人、スポーツ選手を育成、指導に功績のあった人を表彰し、榮譽をたたえるものです。

年間を通じて多くのことを学ぶ

86人に終了証が手渡される
生涯学習の推進とお互いの親睦を図ろうと開かれていたおしどり学園の閉講式が、3月23日、町公民館で開かれました。

式では1年間講座に参加した86人の受講生に修了証が手渡されました。また、全講座に休まず出席した13人に皆勤賞が贈られました。

学園生を代表して赤木政男さん（下黒坂）が「1年間各グループに分かれ楽しく交流が図れたことをうれし

く思います」とあいさつ。その後は、全員で記念撮影をしたり、懇親会が開かれ、学園生たちは楽しかった1年を振り返っていました。

第1回目から参加し続けている住田あや子さん（黒坂）は「みんなと会えることが一番の楽しみです。何でも好奇心を持って挑戦することが健康の秘けつです」と話していました。

同学園は、町内のおおむね60歳以上の人を対象に毎月1回開かれ、午前中は生活に役立つ一般教養講座。午後は生花、手芸などの専門グループに分かれて学習をしています。



学園生に修了証が手渡される